

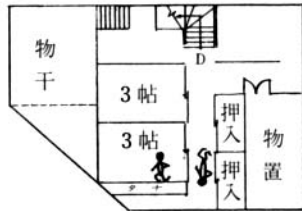
名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積) 延面積	死傷者
ひさご 東京都渋谷区 宇田川町64	飲食店 (3)口	昭和35年12月24日	防火 Ⅲ	④・半・部・小 145m ² (94%)	死者 6名 傷者 6名 (2)
		出火 4時17分ころ 覚知 4時23分 覚知別 報知電話 鎮火 4時59分	建 53m ² 延 154m ²		

I 火災概要								
① 概要	この火災は、年の瀬もおし迫った24日、渋谷駅前の繁華街の飲食店から出火したもので、普通の飲食店での平凡な火災であるが、防火造3階建の建物で同時に6名もの死者が発生して、人命安全上問題を含んだ火災でもあった。							
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等	消防用設備等
	3	39	39	使用人寝室	2	2	屋内階段 1箇所	なし
	2	53	53	住居	6	4		
	①	53	53	飲食店	1			
	B1	9		風呂場	1			
	合計	154	145		10	6		
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, ④居室・非居室, ④在・不在) 1階階段脇の3畳間の座敷から出火したもので、出火当時、店の常備大工1名が深酒をして泥酔し、宿泊しており、煉炭火鉢に火をおこしていた。					④ 出 火 原 因	店の老妻が大工の就寝に寒いと思 い煉炭火鉢に火をおこしてあった が、泥酔していた大工の衣類に触 れるか、誤って倒す等により火災 に至ったもの。	

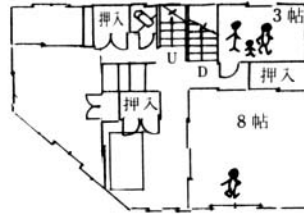
⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 1階階段脇 の3畳間</div> <div style="text-align: center;">(出火室の拡大) 壁, 押入れふすま等</div> <div style="text-align: center;">(他室への拡大) ベニヤ板戸から 階段へ延焼</div> <div style="text-align: center;">(他階への拡大) 階段及び壁面 を延焼拡大</div> </div>			
	<p>1階階段脇から出火し、ベニヤ板戸から階段に拡大し、階段伝いに3階まで延焼していった。 このため、2、3階の就寝者は完全に避難路をしゃ断されてしまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 延焼拡大した主な理由 <ul style="list-style-type: none"> ○ 出火場所で就寝していた者が、泥酔のため発見が遅れた。 ○ 出火場所が階段脇であったため、階段を通じて一きよに3階まで延焼していった。 ○ 煙の伝播経路 <ul style="list-style-type: none"> ○ 出火場所が階段脇であったため、濃煙は煙突状となった階段を急速に上昇し、3階まで充滿した。 			
II 火災建物概要				
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (竣工) 昭和30年 月 日 (3階に改造) 昭和33年 月 日			
管 理 状 況	② 堅 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況	
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> <hr/> 階段は1ヶ所であり、防火的な指導はない。		3階部分(2階小屋裏を改造)を寝室として使用しており、消防の再三の指導にもかかわらず、何ら手をほどこされていなかった。(消防の強力指導等に応じたかのように一時物置として使用していたが、再びそれを無視して使用人の寝室として使用していた。)	
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等	
	持記なし		特記なし	

III 火災後の行動						
① 発見状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発見者 (宿泊中の大工) ○ 発見の動機 (熱く感じて目をさます) ○ 発見後の行動 (火事だとさげび逃げる) <hr/> <p>泥酔した大工は1階の3畳間に就宿したが、なにか熱く感じて目をさましてみると、すでに階段側の出入口のベニヤ板戸と押入れのふすまあたりが燃えあがっており、消火しようにも逃げ出すよゆうもないほどの状態となっており、その部屋の西側の窓から首を出して「火事だ」とさげび、どのように逃げたかわからないが、重いやけどを負い、やっとのことで屋外に出た。</p>					
② 通報状況	<p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (近くの商店の主人) 出火後約(6)分 しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>○ 発見者及び出火建物の人達は、火災の発見が遅かったため、通報できなかった。 ○ 近くの店の主人が就寝していたところ、「角の家が火事ですよ」と表戸をドンドン叩く者があり、火事を知ったが、火元を確かめず枕元の電話で119番へ通報した(4時23分) ○ 第2報 119番(4時23分30秒) ○ 第3報 渋谷望楼(4時24分)</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">消火した</td> <td style="width: 30%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 55%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) 出火場所に就寝していた大工が泥酔していたため発見が遅れ、気がついたときにはすでに火勢が拡大し、逃げだすのがやっとなった。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">消火しない</td> <td> ○ 消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 出火場所に就寝していた大工が泥酔していたため発見が遅れ、気がついたときにはすでに火勢が拡大し、逃げだすのがやっとなった。	消火しない	○ 消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 出火場所に就寝していた大工が泥酔していたため発見が遅れ、気がついたときにはすでに火勢が拡大し、逃げだすのがやっとなった。				
消火しない	○ 消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等) 先着消防隊到着時には、すでに1、2階の窓から猛烈に火煙が噴出していたが、逐次内部進入を図り消火に努めたものである。</p>					

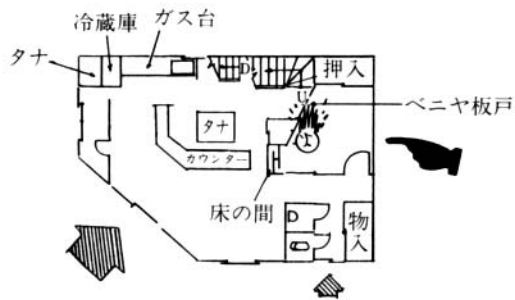
	避難方法	避難上支障事項
⑤ 避難 状況	<ul style="list-style-type: none"> ○階段を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input checked="" type="checkbox"/> (2 人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (1 人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 屋内階段1ヶ所, そこが延焼経路
⑥ 死者 の 状況	健康人 5名 (泥酔者 1名) 要保護者 1名 [乳幼児 1名] 高齢者 名 身体不自由者 名 病人 名	避難上支障となった事項 <ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input checked="" type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
○1階出火場所で寝ていた大工は、大やけどを負いながら屋外へ自力脱出。 ○2階で寝ていた老妻は、きなくさいにおいて目をさまし、夫を起こして階段側のふすまをあけたところ、すでに火煙が猛烈に上昇しており、反対の道路側の窓から避難しようとしたが、道路上にすべり落ち重傷を負ったが助かった。老主人は窓脇のパイプを伝わり脱出した。 ○地下1階で入浴し、洗濯中であった女子店員1名は、大工の声で火事を知り、避難しようとしたが、階段が燃えており脱出できず、煙のため苦しんで悲鳴をあげている所、消防隊に救助された。		
IV 問題点・教訓等		
1. 大工を含めて若夫婦ともに飲酒しており、又、全員が寝入りばなに火災が発生したため多数の焼死者が発生した。 2. 3階部分(2階小屋裏を改造)を寝室として使用することは、法的にも容認されるべきでないが、消防側からの再三の指導にも拘わらず、何ら手をほどこされていなかったもので、この場所から焼死者を出したことの社会的責任は大である。 3. この種小規模建物特有の避難階への脱出手段が、屋内階段1ヶ所しか無かった。		



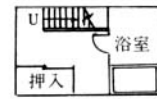
3 階 (小屋裏)



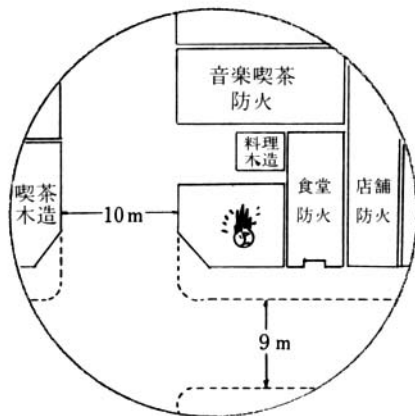
2 階



1 階



地階



配置図

